

ダイワ成長国 セレクト債券ファンド (毎月決算型)^{ナイン} (愛称：セレクト9)

運用報告書(全体版)

第151期 (決算日 2022年8月15日)
第152期 (決算日 2022年9月15日)
第153期 (決算日 2022年10月17日)
第154期 (決算日 2022年11月15日)
第155期 (決算日 2022年12月15日)
第156期 (決算日 2023年1月16日)

(作成対象期間 2022年7月16日～2023年1月16日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券		
信託期間	無期限 (設定日：2010年2月1日)		
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・エマーシング高金利債券マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・エマーシング高金利債券マザーファンド	海外の債券	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、基準価額の水準等によっては、上記にかかわらず今後の安定分配を継続するための分配原資の水準を考慮したうえで分配をすることがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、新興国の現地通貨建債券に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			J Pモルガン G B I - E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率		
	円	円	%		%	%	百万円
127期末(2020年8月17日)	3,867	20	△ 1.5	14,618	0.5	88.7	15,620
128期末(2020年9月15日)	3,848	20	0.0	14,642	0.2	94.3	15,514
129期末(2020年10月15日)	3,736	20	△ 2.4	14,387	△ 1.7	94.8	15,007
130期末(2020年11月16日)	3,801	20	2.3	14,782	2.7	93.3	15,127
131期末(2020年12月15日)	3,861	20	2.1	15,264	3.3	94.7	15,274
132期末(2021年1月15日)	3,861	20	0.5	15,274	0.1	94.9	15,215
133期末(2021年2月15日)	3,896	20	1.4	15,535	1.7	94.5	15,232
134期末(2021年3月15日)	3,881	20	0.1	15,337	△ 1.3	94.7	15,064
135期末(2021年4月15日)	3,780	20	△ 2.1	15,312	△ 0.2	93.2	14,517
136期末(2021年5月17日)	3,841	20	2.1	15,692	2.5	93.2	14,657
137期末(2021年6月15日)	3,899	20	2.0	16,042	2.2	93.0	14,801
138期末(2021年7月15日)	3,790	20	△ 2.3	15,583	△ 2.9	94.5	14,292
139期末(2021年8月16日)	3,751	20	△ 0.5	15,483	△ 0.6	94.8	14,072
140期末(2021年9月15日)	3,773	20	1.1	15,633	1.0	95.5	14,075
141期末(2021年10月15日)	3,808	20	1.5	15,806	1.1	94.7	14,148
142期末(2021年11月15日)	3,719	20	△ 1.8	15,621	△ 1.2	93.8	13,661
143期末(2021年12月15日)	3,518	20	△ 4.9	15,220	△ 2.6	93.2	12,841
144期末(2022年1月17日)	3,545	20	1.3	15,483	1.7	95.6	12,853
145期末(2022年2月15日)	3,563	20	1.1	15,722	1.5	95.3	12,874
146期末(2022年3月15日)	3,382	10	△ 4.8	14,572	△ 7.3	84.6	12,124
147期末(2022年4月15日)	3,673	10	8.9	15,660	7.5	94.0	13,049
148期末(2022年5月16日)	3,575	10	△ 2.4	14,992	△ 4.3	91.2	12,590
149期末(2022年6月15日)	3,670	10	2.9	15,536	3.6	93.7	12,810
150期末(2022年7月15日)	3,569	10	△ 2.5	15,401	△ 0.9	93.3	12,395
151期末(2022年8月15日)	3,624	10	1.8	15,873	3.1	94.5	12,491
152期末(2022年9月15日)	3,747	10	3.7	16,471	3.8	94.1	12,777
153期末(2022年10月17日)	3,693	10	△ 1.2	16,187	△ 1.7	92.5	12,514
154期末(2022年11月15日)	3,638	10	△ 1.2	16,145	△ 0.3	94.1	12,248
155期末(2022年12月15日)	3,567	10	△ 1.7	16,102	△ 0.3	93.3	11,960
156期末(2023年1月16日)	3,500	10	△ 1.6	15,932	△ 1.1	93.0	11,701

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) J Pモルガン G B I - E Mグローバル ダイバーシファイド (円換算) は、J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

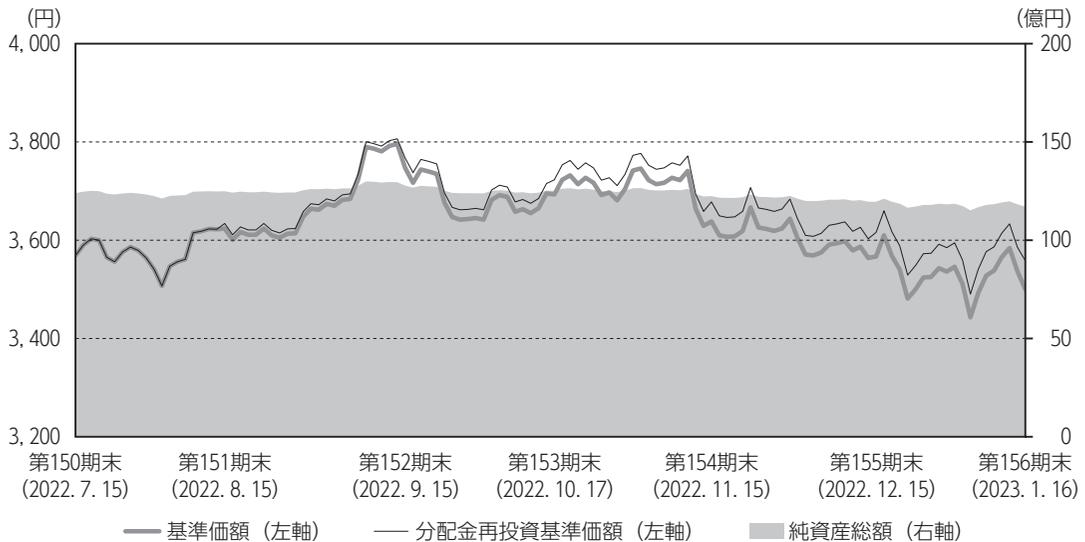
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第151期首：3,569円

第156期末：3,500円（既払分配金60円）

騰落率：△0.3%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

主として「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を通じて、新興国通貨建ての債券に投資した結果、債券の利息収入や投資している債券の値上がりはプラス要因となりましたが、投資対象通貨が対円でおおむね下落（円高）したことがマイナス要因となり、基準価額はおおむね横ばいとなりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ成長国セレクト債券ファンド（毎月決算型）

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M グロ ー バ ル ダ イ バ ー シ ャ イ ド (円換算)		公 社 債 入 率 公 組 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	
		円	%		%	%
第151期	(期首) 2022年 7月15日	3,569	—	15,401	—	93.3
	7月末	3,564	△ 0.1	15,470	0.4	94.1
	(期末) 2022年 8月15日	3,634	1.8	15,873	3.1	94.5
第152期	(期首) 2022年 8月15日	3,624	—	15,873	—	94.5
	8月末	3,662	1.0	16,064	1.2	94.9
	(期末) 2022年 9月15日	3,757	3.7	16,471	3.8	94.1
第153期	(期首) 2022年 9月15日	3,747	—	16,471	—	94.1
	9月末	3,645	△ 2.7	15,837	△ 3.9	94.2
	(期末) 2022年10月17日	3,703	△ 1.2	16,187	△ 1.7	92.5
第154期	(期首) 2022年10月17日	3,693	—	16,187	—	92.5
	10月末	3,742	1.3	16,243	0.3	93.6
	(期末) 2022年11月15日	3,648	△ 1.2	16,145	△ 0.3	94.1
第155期	(期首) 2022年11月15日	3,638	—	16,145	—	94.1
	11月末	3,644	0.2	16,191	0.3	94.0
	(期末) 2022年12月15日	3,577	△ 1.7	16,102	△ 0.3	93.3
第156期	(期首) 2022年12月15日	3,567	—	16,102	—	93.3
	12月末	3,511	△ 1.6	15,830	△ 1.7	94.1
	(期末) 2023年 1月16日	3,510	△ 1.6	15,932	△ 1.1	93.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022. 7. 16 ~ 2023. 1. 16)

新興国債券市況

新興国債券市場は、個別国要因などにより、国によってまちまちな展開となりました。

・ 欧州・中東・アフリカ地域

ポーランドでは、市場の利上げ予想に反して政策金利が据え置かれたことや今後の利下げの可能性が市場で意識されたことで、金利は低下しました。ハンガリー、南アフリカでは、利上げが実施されたことなどを背景に短期の金利は上昇しましたが、米国の金融引き締め観測の後退などを受け、長期の金利は低下しました。

・ アジア地域

インドネシア、インド、フィリピンでは、利上げが実施されたことなどを背景に短期の金利は上昇しましたが、米国の金融引き締め観測の後退などを受け、長期の金利は低下しました。

・ 中南米地域

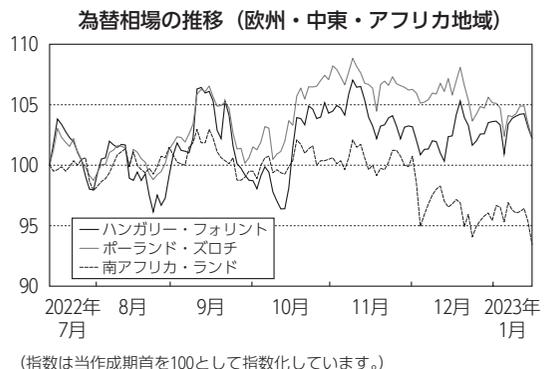
ブラジルでは、利上げサイクルの終了が意識され、金利は低下しました。メキシコ、コロンビアでは、利上げが実施されたことなどを背景に短期の金利は上昇しましたが、米国の金融引き締め観測の後退などを受け、長期の金利は低下しました。

為替相場

多くの新興国通貨は、米国の金融引き締め観測の後退や日銀によるイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）の修正により円高傾向となったことから、対円で下落しました。

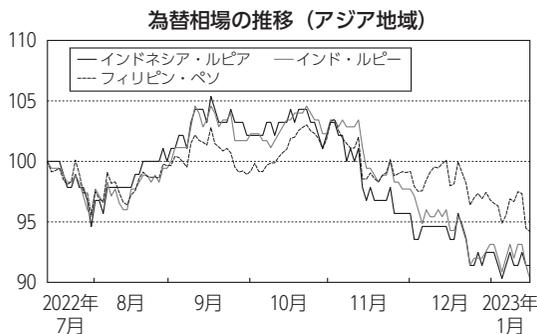
・ 欧州・中東・アフリカ地域

ポーランド・ズロチは、中央銀行による利上げが上昇要因となり、対円で上昇（円安）しました。ハンガリー・フォリントは、ハンガリー政府がEU（欧州連合）との間でウクライナ支援等について合意したことで、一時凍結されているEU予算の使用が可能になるとの期待を受けて、対円で上昇しました。南アフリカ・ランドは、米国の金融引き締め観測の後退や日銀によるイールドカーブ・コントロールの修正により、円高傾向となったことから、対円で下落しました。



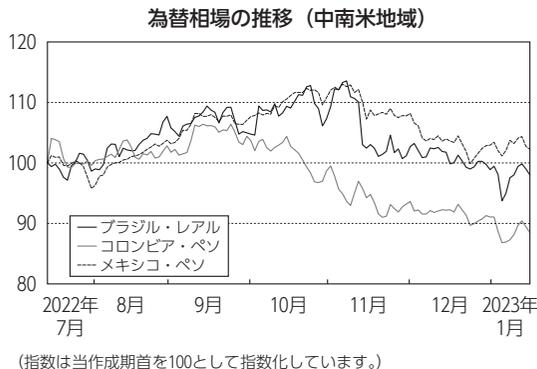
・アジア地域

インドネシア・ルピア、インド・ルピー、フィリピン・ペソは、米国の金融引き締め観測の後退や日銀によるイーールドカーブ・コントロールの修正により、円高傾向となったことから、対円で下落しました。



・中南米地域

ブラジル・リアル、コロンビア・ペソは、米国の金融引き締め観測の後退や日銀によるイーールドカーブ・コントロールの修正により、円高傾向となったことから、対円で下落しました。メキシコ・ペソは、中央銀行による積極的な利上げや高金利通貨としての魅力が上昇要因となり、対円で上昇しました。



前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

ポートフォリオについて

（2022. 7. 16 ～ 2023. 1. 16）

■当ファンド

当作成期を通じて「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

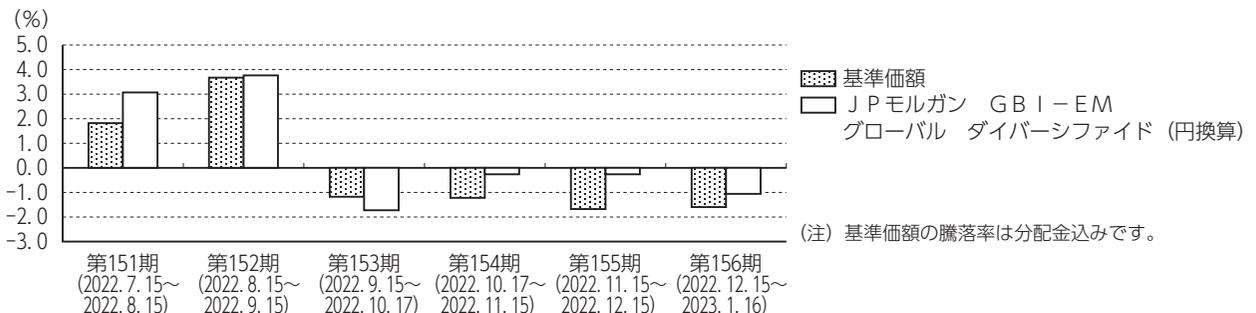
■ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域においては、ポーランド・ズロチ、ハンガリー・フォリント、南アフリカ・ランド、アジア地域ではインドネシア・ルピア、インド・ルピー、フィリピン・ペソ、中南米地域ではブラジル・レアル、コロンビア・ペソ、メキシコ・ペソへ投資しました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1（年）程度～3（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、現地通貨建国債と国際機関債からなるポートフォリオ構成としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
	2022年7月16日 ～2022年8月15日	2022年8月16日 ～2022年9月15日	2022年9月16日 ～2022年10月17日	2022年10月18日 ～2022年11月15日	2022年11月16日 ～2022年12月15日	2022年12月16日 ～2023年1月16日
当期分配金(税込み) (円)	10	10	10	10	10	10
対基準価額比率 (%)	0.28	0.27	0.27	0.27	0.28	0.28
当期の収益 (円)	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	128	137	143	147	152	156

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 17.88円	✓ 19.44円	✓ 15.87円	✓ 14.07円	✓ 14.27円	✓ 14.21円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	96.89	96.94	97.00	97.07	97.15	97.24
(d) 分配準備積立金	23.57	31.42	40.81	46.62	50.63	54.83
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	138.35	147.81	153.69	157.78	162.07	166.29
(f) 分配金	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	128.35	137.81	143.69	147.78	152.07	156.29

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

1万口当りの費用の明細

項 目	第151期～第156期 (2022. 7. 16～2023. 1. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	27円	0.744%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,630円です。
(投 信 会 社)	(12)	(0.334)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0.389)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.021)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0.055	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.047)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.004)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	29	0.799	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

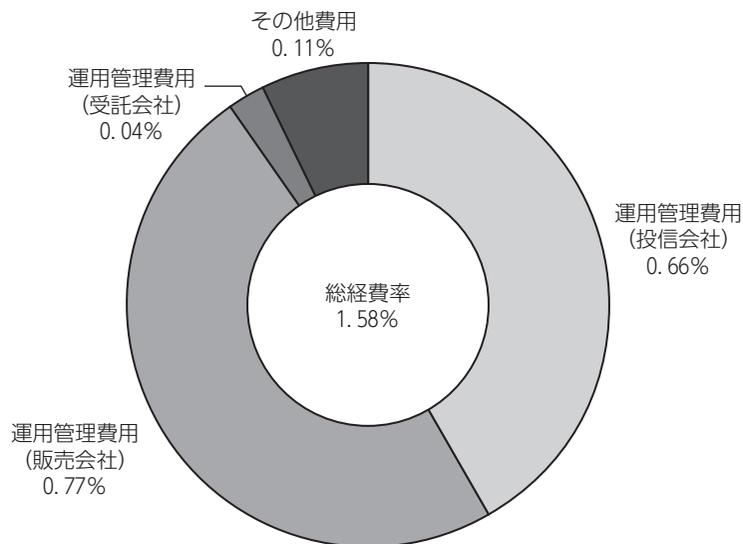
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含まず。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.58%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ成長国セレクト債券ファンド（毎月決算型）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2022年7月16日から2023年1月16日まで)

決算期	第151期～第156期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・エマージング 高金利債券 マザーファンド	303	427	534,664	767,117

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第156期末		
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・エマージング 高金利債券マザーファンド	8,884,505	8,350,144	11,645,111

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年8月15日)、(2022年9月15日)、(2022年10月17日)、(2022年11月15日)、(2022年12月15日)、(2023年1月16日)現在

項目	第151期末	第152期末	第153期末	第154期末	第155期末	第156期末
(A) 資産	12,546,254,707円	12,857,303,698円	12,566,970,480円	12,305,075,512円	12,021,379,936円	11,751,144,349円
コール・ローン等	106,502,484	111,153,912	107,346,428	109,992,323	105,818,975	103,270,007
ダイワ・エマージング高金利債券 マザーファンド(評価額)	12,431,870,500	12,715,094,012	12,455,658,990	12,188,451,464	11,901,549,501	11,645,111,290
未収入金	7,881,723	31,055,774	3,965,062	6,631,725	14,011,460	2,763,052
(B) 負債	55,242,645	79,484,820	52,400,494	56,194,007	61,376,325	49,971,802
未払収益分配金	34,466,502	34,101,274	33,889,598	33,669,396	33,527,191	33,427,745
未払解約金	5,191,500	29,414,033	2,043,643	7,502,839	12,730,967	745,364
未払信託報酬	15,497,919	15,794,401	16,201,479	14,673,882	14,688,084	15,283,082
その他未払費用	86,724	175,112	265,774	347,890	430,083	515,611
(C) 純資産総額(A-B)	12,491,012,062	12,777,818,878	12,514,569,986	12,248,881,505	11,960,003,611	11,701,172,547
元本	34,466,502,221	34,101,274,151	33,889,598,448	33,669,396,047	33,527,191,166	33,427,745,813
次期繰越損益金	△ 21,975,490,159	△ 21,323,455,273	△ 21,375,028,462	△ 21,420,514,542	△ 21,567,187,555	△ 21,726,573,266
(D) 受益権総口数	34,466,502,221口	34,101,274,151口	33,889,598,448口	33,669,396,047口	33,527,191,166口	33,427,745,813口
1万口当り基準価額(C/D)	3,624円	3,747円	3,693円	3,638円	3,567円	3,500円

* 当作成期首における元本額は34,726,824,303円、当作成期間(第151期～第156期)中における追加設定元本額は260,166,664円、同解約元本額は1,559,245,154円です。

* 第156期末の計算口数当りの純資産額は3,500円です。

* 第156期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は21,726,573,266円です。

■投資信託財産の構成

2023年1月16日現在

項目	第156期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ・エマージング高金利債券 マザーファンド	11,645,111	99.1
コール・ローン等、その他	106,033	0.9
投資信託財産総額	11,751,144	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=127.92円、1メキシコ・ペソ=6.825円、1フィリピン・ペソ=2.33円、100コロンビア・ペソ=2.727円、1インド・ルピー=1.58円、100インドネシア・ルピア=0.85円、1ブラジル・レアル=25.067円、1南アフリカ・ランド=7.57円、1ポーランド・ズロチ=29.556円、100ハンガリー・フォリント=35.022円です。

(注3) ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンドにおいて、第156期末における外貨建純資産(12,963,907千円)の投資信託財産総額(13,011,747千円)に対する比率は、99.6%です。

■損益の状況

第151期 自 2022年7月16日 至 2022年8月15日 第153期 自 2022年9月16日 至 2022年10月17日 第155期 自 2022年11月16日 至 2022年12月15日
 第152期 自 2022年8月16日 至 2022年9月15日 第154期 自 2022年10月18日 至 2022年11月15日 第156期 自 2022年12月16日 至 2023年1月16日

項 目	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
(A) 配当等収益	△ 602円	△ 1,816円	△ 3,104円	△ 3,287円	△ 4,246円	△ 2,511円
受取利息	—	11	11	9	10	1
支払利息	△ 602	△ 1,827	△ 3,115	△ 3,296	△ 4,256	△ 2,512
(B) 有価証券売買損益	238,559,863	469,126,814	△ 133,656,208	△ 135,933,750	△ 188,790,529	△ 174,471,230
売買益	239,166,372	472,878,248	1,414,781	1,292,388	673,919	582,755
売買損	△ 606,509	△ 3,751,434	△ 135,070,989	△ 137,226,138	△ 189,464,448	△ 175,053,985
(C) 信託報酬等	△ 15,584,643	△ 15,882,789	△ 16,292,141	△ 14,755,998	△ 14,770,277	△ 15,368,610
(D) 当期損益金 (A + B + C)	222,974,618	453,242,209	△ 149,951,453	△ 150,693,035	△ 203,565,052	△ 189,842,351
(E) 前期繰越損益金	△ 10,081,020,651	△ 9,776,015,807	△ 9,288,424,874	△ 9,398,015,892	△ 9,529,591,734	△ 9,723,699,381
(F) 追加信託差損益金	△ 12,082,977,624	△ 11,966,580,401	△ 11,902,762,537	△ 11,838,136,219	△ 11,800,503,578	△ 11,779,603,789
(配当等相当額)	(333,974,736)	(330,604,823)	(328,744,181)	(326,861,964)	(325,741,247)	(325,083,699)
(売買損益相当額)	(△ 12,416,952,360)	(△ 12,297,185,224)	(△ 12,231,506,718)	(△ 12,164,998,183)	(△ 12,126,244,825)	(△ 12,104,687,488)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 21,941,023,657	△ 21,289,353,999	△ 21,341,138,864	△ 21,386,845,146	△ 21,533,660,364	△ 21,693,145,521
(H) 収益分配金	△ 34,466,502	△ 34,101,274	△ 33,889,598	△ 33,669,396	△ 33,527,191	△ 33,427,745
次期繰越損益金 (G + H)	△ 21,975,490,159	△ 21,323,455,273	△ 21,375,028,462	△ 21,420,514,542	△ 21,567,187,555	△ 21,726,573,266
追加信託差損益金	△ 12,082,977,624	△ 11,966,580,401	△ 11,902,762,537	△ 11,838,136,219	△ 11,800,503,578	△ 11,779,603,789
(配当等相当額)	(333,974,736)	(330,604,823)	(328,744,181)	(326,861,964)	(325,741,247)	(325,083,699)
(売買損益相当額)	(△ 12,416,952,360)	(△ 12,297,185,224)	(△ 12,231,506,718)	(△ 12,164,998,183)	(△ 12,126,244,825)	(△ 12,104,687,488)
分配準備積立金	108,431,256	139,346,806	158,223,300	170,719,456	184,112,930	197,383,463
繰越損益金	△ 10,000,943,791	△ 9,496,221,678	△ 9,630,489,225	△ 9,753,097,779	△ 9,950,796,907	△ 10,144,352,940

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
(a) 経費控除後の配当等収益	61,641,290円	66,293,738円	53,785,479円	47,405,814円	47,861,112円	47,508,587円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	333,974,736	330,604,823	328,744,181	326,861,964	325,741,247	325,083,699
(d) 分配準備積立金	81,256,468	107,154,342	138,327,419	156,983,038	169,779,009	183,302,621
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	476,872,494	504,052,903	520,857,079	531,250,816	543,381,368	555,894,907
(f) 分配金	34,466,502	34,101,274	33,889,598	33,669,396	33,527,191	33,427,745
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	442,405,992	469,951,629	486,967,481	497,581,420	509,854,177	522,467,162
(h) 受益権総口数	34,466,502,221口	34,101,274,151口	33,889,598,448口	33,669,396,047口	33,527,191,166口	33,427,745,813口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金（税込み）	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
	10円	10円	10円	10円	10円	10円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

運用報告書 第30期 (決算日 2023年1月16日)

(作成対象期間 2022年7月16日～2023年1月16日)

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

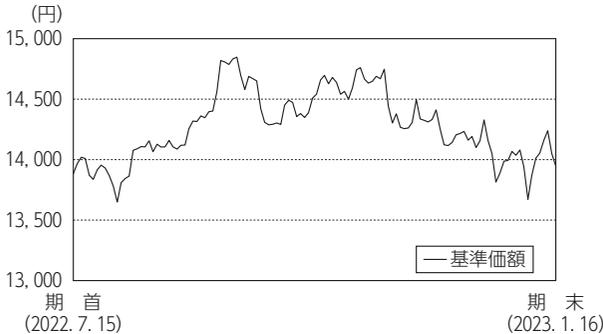
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	海外の債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：13,884円 期末：13,946円 騰落率：0.4%

【基準価額の主な変動要因】

新興国通貨建ての債券に投資した結果、債券の利息収入や投資している債券の値上がりはプラス要因となりましたが、投資対象通貨が対円でおおむね下落（円高）したことがマイナス要因となり、基準価額はおおむね横ばいとなりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○新興国債券市況

新興国債券市場は、個別国要因などにより、国によってまちまちな展開となりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

ポーランドでは、市場の利上げ予想に反して政策金利が据え置かれたことや今後の利下げの可能性が市場で意識されたことで、金利は低下しました。ハンガリー、南アフリカでは、利上げが実施されたことなどを背景に短期の金利は上昇しましたが、米国の金融引き締め観測の後退などをを受け、長期の金利は低下しました。

・アジア地域

インドネシア、インド、フィリピンでは、利上げが実施されたことなどを背景に短期の金利は上昇しましたが、米国の金融引き締め観測の後退などをを受け、長期の金利は低下しました。

・中南米地域

ブラジルでは、利上げサイクルの終了が意識され、金利は低下しました。メキシコ、コロンビアでは、利上げが実施されたことなどを背景に短期の金利は上昇しましたが、米国の金融引き締め観測の後退などをを受け、長期の金利は低下しました。

○為替相場

多くの新興国通貨は、米国の金融引き締め観測の後退や日銀によるイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）の修正により円高傾向となったことから、対円で下落しました。

・欧州・中東・アフリカ地域

ポーランド・ズロチは、中央銀行による利上げが上昇要因となり、対円で上昇（円安）しました。ハンガリー・フォリントは、ハンガリー政府がEU（欧州連合）との間でウクライナ支援等について合意したことで、一時凍結されているEU予算の使用が可能になるとの期待を受けて、対円で上昇しました。南アフリカ・ランドは、米国の金融引き締め観測の後退や日銀によるイールドカーブ・コントロールの修正により、円高傾向となったことから、対円で下落しました。

・アジア地域

インドネシア・ルピア、インド・ルピー、フィリピン・ペソは、米国の金融引き締め観測の後退や日銀によるイールドカーブ・コントロールの修正により、円高傾向となったことから、対円で下落しました。

・中南米地域

ブラジル・リアル、コロンビア・ペソは、米国の金融引き締め観測の後退や日銀によるイールドカーブ・コントロールの修正により、円高傾向となったことから、対円で下落しました。メキシコ・ペソは、中央銀行による積極的な利上げや高金利通貨としての魅力が上昇要因となり、対円で上昇しました。

年 月 日	基準価額		J Pモルガン GBI-E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組 入 比 率
	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2022年 7月15日	円	%	15,740	%	%
7月末	13,884	—	15,811	0.4	93.7
8月末	13,870	△0.1	16,418	4.3	94.5
9月末	14,315	3.1	16,186	2.8	94.7
10月末	14,303	3.0	16,602	5.5	94.0
11月末	14,742	6.2	16,548	5.1	94.5
12月末	14,411	3.8	16,179	2.8	94.6
(期末) 2023年 1月16日	13,941	0.4	16,284	3.5	93.4
	13,946	0.4			

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) J Pモルガン GBI-E Mグローバル ダイバーシファイド (円換算) は、J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

◆ポートフォリオについて

・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。

・欧州・中東・アフリカ地域においては、ポーランド・ズロチ、ハンガリー・フォリント、南アフリカ・ランド、アジア地域ではインドネシア・ルピア、インド・ルピー、フィリピン・ペソ、中南米地域ではブラジル・レアル、コロンビア・ペソ、メキシコ・ペソへ投資しました。

・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1（年）程度～3（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、現地通貨建国債と国際機関債からなるポートフォリオ構成としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	7
（保管費用）	(7)
（その他）	(1)
合 計	7

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2022年7月16日から2023年1月16日まで)

		買付額	売付額
外 国	メキシコ	千メキシコ・ペソ 国債証券	千メキシコ・ペソ 21,362 (—)
		千フィリピン・ペソ 国債証券	千フィリピン・ペソ 41,705 (—)
	フィリピン	特殊債券	— (—)
		千コロンビア・ペソ 国債証券	千コロンビア・ペソ 7,141,745 (—)
	コロンビア	千インド・ルピー 国債証券	千インド・ルピー 197,245 (—)
		特殊債券	135,743 (—)
	インド	千インドネシア・ルピア 国債証券	千インドネシア・ルピア — (—)
		特殊債券	87,467,200 (28,000,000)
	インドネシア	千ブラジル・レアル 国債証券	千ブラジル・レアル 17,800 (6,500)
		南アフリカ	千南アフリカ・ランド 国債証券
ブラジル	千ポーランド・ズロチ 国債証券	千ポーランド・ズロチ — (—)	
	ハンガリー	千ハンガリー・フォリント 国債証券	千ハンガリー・フォリント 527,036 (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2022年7月16日から2023年1月16日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK (国際機関) 7.875% 2023/3/14	721,332	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル) 10% 2021/1/1	660,010
India Government Bond (インド) 6.18% 2024/11/4	332,364	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 6.45% 2022/12/13	489,769
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル) 10% 2029/1/1	248,923	India Government Bond (インド) 8.83% 2023/11/25	362,895
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル) 10% 2025/1/1	207,969	Mexican Bonos (メキシコ) 6.75% 2023/3/9	359,875
INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK (国際機関) 5% 2024/2/12	198,243	INTL. FIN. CORP. (国際機関) 5.85% 2022/11/25	295,338
MEXICAN BONOS (メキシコ) 5% 2025/3/6	159,751	Poland Government Bond (ポーランド) 2023/4/25	148,020
Hungary Government Bond (ハンガリー) 3.25% 2031/10/22	154,990	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 4.5% 2023/4/3	135,516
Colombian TES (コロンビア) 6.25% 2025/11/26	129,982	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 7.75% 2023/2/28	73,849
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8.25% 2032/3/31	106,025	India Government Bond (インド) 5.85% 2030/12/1	73,496
Colombian TES (コロンビア) 10% 2024/7/24	90,185	Indonesia Treasury Bond (インドネシア) 8.25% 2036/5/15	50,877

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国(外貨建)公社債(通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期			組入比率	うちB B 格 以下組入 率	残存期間別組入比率			
		評 価 額		%			%	%	%	%
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額							
メキシコ	千メキシコ・ペソ 214,000	千メキシコ・ペソ 205,932	千円 1,405,656	% 10.8	% —	% 1.9	% 1.1	% 7.7		
フィリピン	千フィリピン・ペソ 606,000	千フィリピン・ペソ 593,611	1,383,353	10.6	—	2.0	—	8.6		
コロンビア	千コロンビア・ペソ 51,500,000	千コロンビア・ペソ 48,483,360	1,322,335	10.2	—	—	3.3	6.8		
インド	千インド・ルピー 770,000	千インド・ルピー 753,768	1,190,953	9.2	—	1.1	—	8.0		
インドネシア	千インドネシア・ルピア 158,000,000	千インドネシア・ルピア 161,779,260	1,375,123	10.6	—	1.9	—	8.7		
ブラジル	千ブラジル・レアル 49,000	千ブラジル・レアル 45,533	1,141,391	8.8	—	5.1	—	3.7		
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 184,000	千南アフリカ・ランド 188,141	1,424,232	10.9	—	0.8	4.8	5.4		
ポーランド	千ポーランド・ズロチ 52,000	千ポーランド・ズロチ 47,896	1,415,615	10.9	—	1.0	2.8	7.2		
ハンガリー	千ハンガリー・フォリント 4,850,000	千ハンガリー・フォリント 4,273,394	1,496,666	11.5	—	1.6	—	9.9		
合計	—	—	12,155,327	93.4	—	15.4	12.0	66.0		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分		銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千メキシコ・ペソ	千メキシコ・ペソ	千円	
メキシコ		Mexican Bonos	国債証券	8.0000	40,000	37,070	253,032	2047/11/07
		Mexican Bonos	国債証券	8.0000	20,000	19,390	132,354	2024/09/05
		Mexican Bonos	国債証券	6.7500	40,000	39,744	271,290	2023/03/09
		MEXICAN BONOS	国債証券	5.0000	24,000	21,903	149,511	2025/03/06
		Mexican Bonos	国債証券	8.0000	90,000	87,823	599,467	2023/12/07
通貨小計	銘柄数 金 額	5銘柄			214,000	205,932	1,405,656	
					千フィリピン・ペソ	千フィリピン・ペソ		
フィリピン		PHILIPPINE GOVERNMENT	国債証券	6.2500	70,000	70,104	163,371	2028/03/22
		PHILIPPINE GOVERNMENT	国債証券	8.1250	11,000	11,931	27,805	2035/12/16
		PHILIPPINE GOVERNMENT	国債証券	9.2500	25,000	29,861	69,589	2034/11/05
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	4.5000	55,000	54,785	127,672	2023/04/03
		EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	2.0000	445,000	426,928	994,914	2024/02/05
通貨小計	銘柄数 金 額	5銘柄			606,000	593,611	1,383,353	
					千コロンビア・ペソ	千コロンビア・ペソ		
コロンビア		Colombia Government International Bond	国債証券	9.8500	4,000,000	3,625,080	98,870	2027/06/28
		Colombian TES	国債証券	10.0000	33,500,000	32,631,680	889,996	2024/07/24
		Colombian TES	国債証券	7.5000	9,000,000	7,880,400	214,930	2026/08/26
		Colombian TES	国債証券	6.2500	5,000,000	4,346,200	118,538	2025/11/26
通貨小計	銘柄数 金 額	4銘柄			51,500,000	48,483,360	1,322,335	
					千インド・ルピー	千インド・ルピー		
インド		India Government Bond	国債証券	5.8500	100,000	91,550	144,649	2030/12/01
		India Government Bond	国債証券	6.1800	280,000	276,500	436,870	2024/11/04
		EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	6.5000	270,000	268,539	424,292	2023/06/19
		INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	5.0000	120,000	117,178	185,142	2024/02/12
通貨小計	銘柄数 金 額	4銘柄			770,000	753,768	1,190,953	
					千インドネシア・ルピア	千インドネシア・ルピア		
インドネシア		Indonesia Treasury Bond	国債証券	8.2500	15,000,000	16,690,800	141,871	2036/05/15
		Indonesia Treasury Bond	国債証券	5.6250	45,000,000	45,088,200	383,249	2023/05/15
		Indonesia Treasury Bond	国債証券	8.7500	11,000,000	12,554,960	106,717	2044/02/15
		EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	4.9000	7,000,000	7,013,300	59,613	2023/03/30
		INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	7.8750	80,000,000	80,432,000	683,672	2023/03/14
通貨小計	銘柄数 金 額	5銘柄			158,000,000	161,779,260	1,375,123	
					千ブラジル・レアル	千ブラジル・レアル		
ブラジル		Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000	20,000	19,220	481,789	2025/01/01
		Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000	28,000	25,425	637,348	2029/01/01
		Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000	1,000	887	22,253	2031/01/01
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄			49,000	45,533	1,141,391	

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千南アフリカ・ランド	千円	
南アフリカ	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	10.5000	76,000	81,947	620,344	2026/12/21
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7.7500	93,000	93,034	704,270	2023/02/28
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.2500	15,000	13,159	99,617	2032/03/31
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄		184,000	188,141	1,424,232	
ポーランド	Poland Government Bond	国債証券	2.5000	14,000	12,149	359,102	2027/07/25
	Poland Government Bond	国債証券	—	32,000	31,515	931,482	2023/04/25
	POLAND GOVERNMENT BOND	国債証券	1.7500	6,000	4,230	125,030	2032/04/25
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄		52,000	47,896	1,415,615	
ハンガリー	Hungary Government Bond	国債証券	2.5000	2,000,000	1,729,900	605,861	2024/10/24
	Hungary Government Bond	国債証券	3.2500	800,000	602,800	211,118	2031/10/22
	Hungary Government Bond	国債証券	6.0000	2,050,000	1,940,694	679,687	2023/11/24
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄		4,850,000	4,273,394	1,496,666	
合 計	銘柄数 金 額	35銘柄				12,155,327	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年1月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	12,155,327	93.4
コール・ローン等、その他	856,420	6.6
投資信託財産総額	13,011,747	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=127.92円、1メキシコ・ペソ=6.825円、1フィリピン・ペソ=2.33円、100コロンビア・ペソ=2.727円、1インド・ルピー=1.58円、100インドネシア・ルピア=0.85円、1ブラジル・リアル=25.067円、1南アフリカ・ランド=7.57円、1ポーランド・ズロチ=29.556円、100ハンガリー・フォリント=35.022円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産(12,963,907千円)の投資信託財産総額(13,011,747千円)に対する比率は、99.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年1月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	13,047,773,234円
コール・ローン等	612,194,194
公社債（評価額）	12,155,327,644
未収入金	36,713,404
未収利息	193,505,689
前払費用	50,032,303
(B) 負債	39,210,543
未払金	36,025,584
未払解約金	3,184,959
(C) 純資産総額（A－B）	13,008,562,691
元本	9,327,987,647
次期繰越損益金	3,680,575,044
(D) 受益権総口数	9,327,987,647口
1万口当り基準価額（C／D）	13,946円

* 期首における元本額は9,954,446,215円、当作成期間中における追加設定元本額は3,225,835円、同解約元本額は629,684,403円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 ダイワ成長国セレクト債券ファンド（毎月決算型） 8,350,144,336円
 ダイワ成長国セレクト債券ファンド（年1回決算型） 199,009,174円
 ダイワ・エマージング高金利債券ファンド（毎月分配型） 778,071,887円
 ダイワ・エマージング高金利債券ファンド（年1回決算型） 762,250円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,946円です。

■損益の状況

当期 自 2022年7月16日 至 2023年1月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	417,293,049円
受取利息	417,307,050
支払利息	△ 14,001
(B) 有価証券売買損益	△ 323,428,989
売買益	363,106,106
売買損	△ 686,535,095
(C) その他費用	△ 6,982,614
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	86,881,446
(E) 前期繰越損益金	3,866,397,026
(F) 解約差損益金	△ 274,059,610
(G) 追加信託差損益金	1,356,182
(H) 合計（D＋E＋F＋G）	3,680,575,044
次期繰越損益金（H）	3,680,575,044

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。